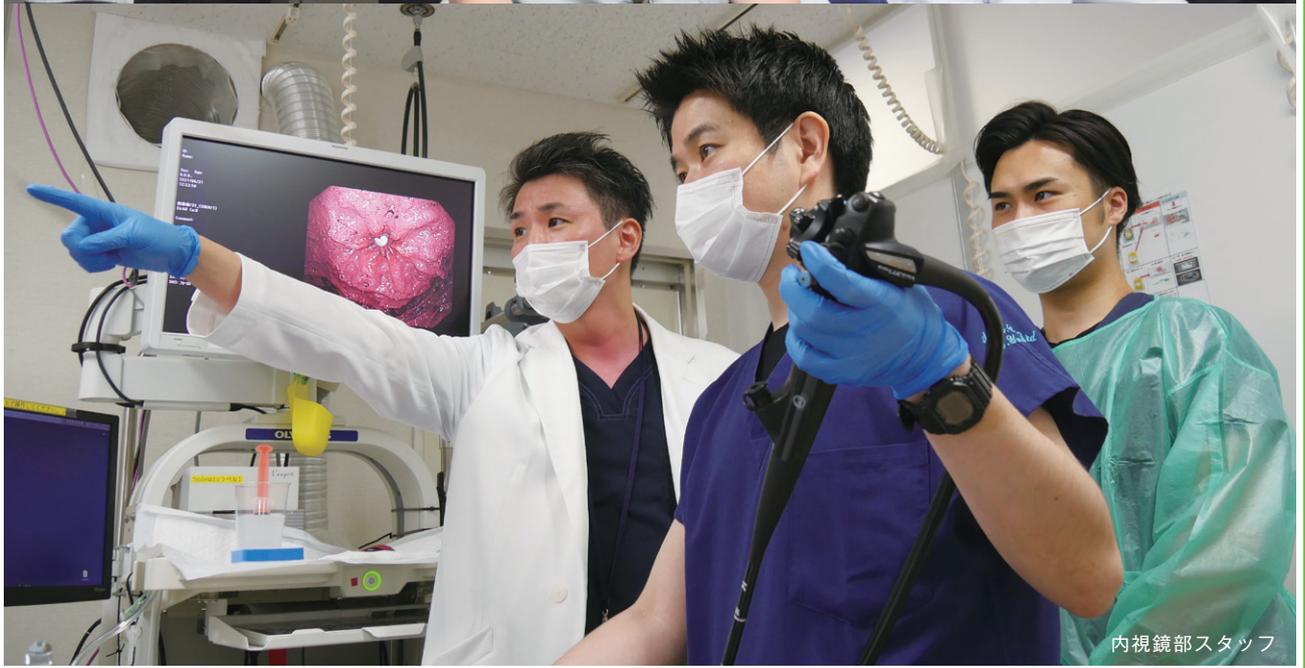


西部病院だより

いこいの森

特集

内視鏡部



不安や苦痛の少ない内視鏡診療に努めてまいります



FEATURE 内視鏡部のご紹介

不安や苦痛が少ない専門性の高い
内視鏡診療を目指して



准教授、内視鏡部部長
黒木優一郎

一人一人に合わせた専門性の高い 内視鏡検査、治療の提供を おこなっています。

近年、内視鏡検査は消化器、呼吸器の診断には欠かすことのできない手段となってきました。また、内視鏡を利用してさまざまな治療も可能となり、今までのような大きな手術をしないで治療できることも少なくありません。

当院の内視鏡部では消化器内科や呼吸器内科、消化器外科に所属する医師による、消化器内視鏡と気管支鏡による診療が行われており、前者は食道・胃・十二指腸・小腸・脾・胆嚢・胆管・大

腸を、後者は気管・気管支・肺を対象としています。それぞれの臓器に発生する炎症やがんを発見・診断するばかりでなく、消化管の早期がんやポリープの切除、消化管出血の止血や予防、総胆管結石の除去などの内視鏡的治療も広く行っています。また、胃や大腸腫瘍の内視鏡的粘膜下層剥離術 (Endoscopic Submucosal Dissection: ESD) など、低侵襲な早期がんに対する内視鏡治療にも努めております。



早期大腸がんの病変



ESD後の切除底



切除検体

経歴紹介

黒木優一郎 (准教授、内視鏡部部長)

診療科・部門：消化器・肝臓内科、内視鏡部
出身校・卒業年：1999年 昭和大学医学部

- 1999年 昭和大学藤が丘病院 内科研修医
- 2001年 昭和大学藤が丘病院消化器内科 員外助手
- 2004年 昭和大学藤が丘病院消化器内科 助手
- 2008年 国家公務員共済組合連合 虎の門病院消化器科
- 2010年 昭和大学藤が丘病院消化器内科 助教、博士(医学)取得
- 2013年 昭和大学藤が丘病院消化器内科 講師
- 2018年 昭和大学江東豊洲病院消化器センター、昭和大学病院消化器内科などを経て
- 2021年 聖マリアンナ医科大学消化器・肝臓内科 准教授 / 同年4月 横浜市西部病院 内視鏡部部長

資格等

日本内科学会認定医・総合内科専門医、日本消化器病学会専門医・指導医・評議員、日本消化器内視鏡学会専門医・指導医・評議員、日本消化管学会胃腸科専門医・指導医・代議員、日本がん治療認定医機構がん治療認定医、日本カプセル内視鏡学会カプセル内視鏡認定医、臨床研修指導医、緩和ケア講習会修了、難病指定医

専門領域

消化器疾患全般、大腸腫瘍の内視鏡治療、炎症性腸疾患(潰瘍性大腸炎、クローン病など)

内視鏡検査による病気の早期発見・早期診断・低侵襲での治療が可能な体制が整い、潰瘍性大腸炎やクローン病などのIBD（炎症性腸疾患）の診断・治療がよりスムーズになりました。

2021年よりオリンパスの最上位機種である次世代内視鏡システム「EVIS X1」を導入しました。従来のNBIシステムに加え、様々な機能を搭載しており、内視鏡検査による病気の早期発見・早期診断・低侵襲での治療を目指す体制が整い、精度の高い検

査・処置が可能となりました。また、新たなスタッフの加入とカプセル内視鏡の導入により、クローン病、潰瘍性大腸炎などの炎症性腸疾患の診断・治療がよりスムーズにおこなえる体制となりました。



安全で苦痛のない検査を心掛け、安心して内視鏡診療を受けていただけるよう心掛けています。

内視鏡検査での送気に伴う腹部膨満の苦痛軽減と治療内視鏡を安全に行うためにすべての内視鏡検査にCO₂（二酸化炭素）送気システムを搭載し、ご希望に応じて適切な鎮静剤を使用し、安全で苦痛のない検査を心掛け、安心して内視鏡診療を受けて

いただけるよう心掛けています。医師、看護師、内視鏡技師、受付などのスタッフが協力し合い、質の高い内視鏡検査を提供できるよう努力していきますので、よろしくお願いいたします。

3月・4月新任 部門責任者紹介



救急医学・総合診療 林晃一

この度、4月1日付で着任いたしました。これまでは、腎臓、高血圧、透析医療を中心に内科診療を行ってまいりました。内科総合診療の役割拡充ならびに高血圧、特に治療抵抗性や二次性高血圧の診療を行いたいと考えております。ご紹介いただければ幸いです。



消化器・一般外科 部長 内藤正規

4月より消化器・一般外科部長として赴任致しました内藤正規と申します。聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院における、質の高い医療の提供に尽力して参ります。消化器疾患でお困りの際は、是非ご相談ください。



小児科 部長 吉村博

4月1日付で、小児科講座の命で、ご高名な瀧教授の後任として小児科部長を拝命いたしました。非力ながらコミュニケーション重視で風通しのよいチーム作りに邁進する所存です。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。



周産期センター センター長 仲村将光

3月付で周産期センター長を拝命しました。仲村将光と申します。コロナ禍大変な時期ですが、このような状況下でも周産期医療を母児の安全とともに守るよう努めてまいります。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

腎臓・高血圧内科 部長 今井直彦

4月1日付で腎臓・高血圧内科部長に着任致しました。スタッフ一同、力を合わせてこれまで以上に地域の患者さまに貢献していきたいと考えております。先生方におかれましては引き続き、御指導、御支援を賜りますよう、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

神経精神科 部長 菅原一晃

昨年度から今年度にかけて部長が交代し、その他比較的若い医師での運用となりますため、当院当科では教育機関としての意味合いを強めた形での臨床を行わせていただきます。当科ではできる限り精神科薬剤、とりわけ転倒や認知機能障害を引き起こし得るベンゾジアゼピン系薬剤を少なく使用することを心がけ、患者さまの生活習慣や病気に対しての考え方を見直して頂くことで、患者さまの病気を治す力を引き出していく医療を目指していきます。

病理診断科 副部長 有泉泰

3月まで多摩病院で勤務しておりました。聖マリ23期卒です相田、柳沢から有泉、長宗我部に交代となりました。以前と報告書の雰囲気等が変わり、戸惑う事もあるとは思いますが、何かあればお尋ね頂ければ幸いです。

梅雨時の食中毒に注意！

梅雨に入り気温、湿度が高くなる季節は、食中毒が起こりやすくなります。食中毒予防のポイントについてご紹介します。



食中毒予防のポイント

1 手洗いを徹底しましょう

- 手は細菌やウイルスがついているため、帰宅時、トイレの後、調理前、調理中に石鹼を用いて必ず手洗いをする。食中毒の原因になる細菌・ウイルスの一部にはアルコール消毒の効果が低いものがあるため、手洗いの徹底が最も重要です。

2 食材、料理の温度管理をしましょう

- 食材は冷蔵庫、冷凍庫に保管する。
- 肉や魚は中まで十分に加熱する。
- 料理は早めに食べる。保管は冷蔵庫にして長期保管は避ける。
- 温め直す時は全体的に十分に加熱する。

3 まな板や包丁等は清潔にしましょう

- まな板や包丁は使用后丁寧に洗い、熱湯消毒や塩素系漂白剤で消毒する。
- スポンジは最後に洗浄し、乾かす。

食中毒が疑われたら、市販の下痢止めなどの薬をむやみに服用せず、早めに医師の診断を受けましょう。



院内施設の
ご紹介

ヘアサロン・ボン 地下1階

■ 営業日・営業時間

平日：9時～18時

土曜日：9時～18時

※パーマ・カラー等は、閉店1時間前まで受付

定休日：日曜日、火曜日、祝日、
第2・3月曜日

■ 電話番号：045-362-4674

■ URL：<http://www.hair-bon.com/marianna.html>

入院中の患者さま、外来受診の患者さま、お見舞いの方や職員の皆さまなどどなたでもお気軽にご利用いただけます。酸素吸引や点滴、車椅子をご利用の方でも、そのままカットすることができます。また、ご入院中の患者さまで、当店までの来店が困難な場合は、病室までお伺いし出張カットをさせていただいております。スタッフ一同、心よりご来店をお待ちしております。

完全予約制ではありませんが、お待ちにならずにご利用いただくためにご予約をお薦めしております。



健康管理部



健康の保持増進のための活動を行っています。

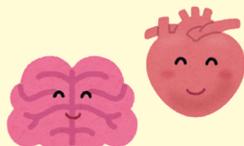
あなたとあなたの大切な人のため、定期的に健康診断を受けましょう。

人間ドック

【セットコース】

男性／61,600円

女性／66,000円



【オプション】

脳ドック／22,000円

肺ドック／22,000円

心臓ドック／33,000円



各種健康診断

雇用時健康診断、定期健康診断

横浜市胃がん・大腸がん検診

各種予防接種

インフルエンザ(公費・一般)

B型肝炎ワクチン

肺炎球菌ワクチン(ニューモバックス・プレベナー)

帯状疱疹ワクチン(シングリックス)

麻疹・風疹・MR・水痘・おたふくかぜ等



禁煙外来

「禁煙治療のための標準手順書」に則った禁煙プログラムで禁煙補助薬(主にバレニクレン)を使用します。

診察日：月曜日午前中／1回60分程度(5回)
保険適応

肝炎検査

横浜市肝炎ウイルス検査

専門医が対応致します



駒瀬 裕子
(呼吸器内科専門)



佐藤 明
(消化器内科専門)



田口 芳雄
(脳外科専門)



武者 春樹
(循環器内科専門)



聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院
St. Marianna University Yokohama Seibu Hospital

地域医療支援病院

日本医療機能評価機構認定病院

JCEP(卒後臨床研修評価機構)認定病院



〒241-0811 神奈川県横浜市旭区矢指町1197-1

電話 045-366-1111(代表)

FAX 045-366-1172

URL <https://seibu.marianna-u.ac.jp/>

